

## 別紙様式第十五号

### 研究の名称

早期の歩行自立と関連する因子の検討

#### 1. 研究の対象

2016年1月～2018年1月に当院の回復期リハビリテーション病棟に入院され、入院中に歩行自立となった方

#### 2. 研究目的・方法

一般に歩行能力は日常生活活動全般に影響を与える重要な因子であり、体力の維持や精神機能の賦活にも寄与すると言われている。回復期リハビリテーション病棟において歩行の自立は必要不可欠な目標で、歩行自立の可否は在宅復帰の可否に大きく関わりとされている。そのためより早期に歩行を獲得することは、廃用症候群や認知症の進行予防に有用で、回復期病棟での在院日数の短縮やADL向上に繋がると考える。これまで回復期入棟患者の退院時の歩行可否に関わる因子を検討した研究は多くあるが、早期の歩行自立に関わる因子について入院時評価から予測した研究は少ない。そこで本研究では回復期入院患者の入院時評価より早期歩行自立に関わる因子を検討し、早期歩行自立に向けたアプローチの一助とすることを目的とする。

研究開始期間：2016年1月

研究終了期間：2018年1月

#### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・基本情報として性別、年齢、急性期の在院日数、疾患、入院から歩行自立までの日数、その他の項目として入院時のFIM運動点、入院時のFIMトイレ動作、入院時のFIMベッド移乗、入院時のFIM移動、入院時のMMSE、入院時の膝伸展筋力テスト、入院時の10m歩行テスト、入院時の30秒立ち上がりテスト（CS30）、入院時の重心動揺テスト、入院時のやる気スコア、入院時の転倒恐怖感（FES）
- ・本研究では入院中に得たデータを利用し、研究目的で新しいデータの収集は行わない。

#### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

医療法人社団主体会小山田記念温泉病医院

研究責任者：リハビリテーションセンター 理学療法士 後久 由貴

〒511-1111

三重県四日市市山田町 5538-1

電話 059-328-1260

ファックス 050-328-3040